

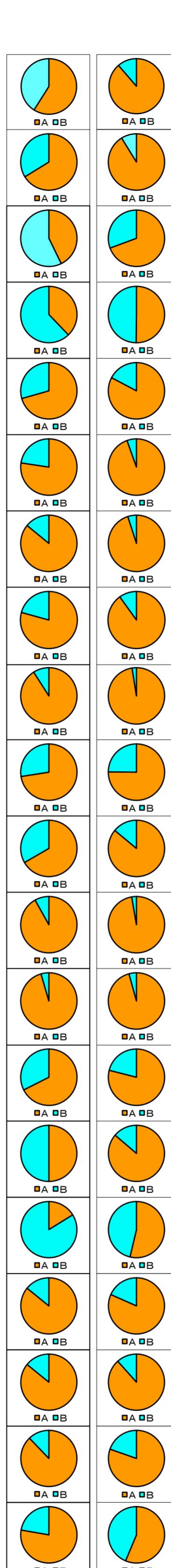
# 令和6年度後期（12月）学校評価アンケート集計結果

京都市立蜂ヶ岡中学校

A: そう思う・大体そう思う

B: あまりそう思わない・そう思わない

保護者アンケート		割合(%)	
		A	B
1	こどもは授業の内容がわかりやすいと言っていますか	59.0	41.0
2	こどもは自分の思いや考えを表現することができていますか	66.2	33.8
3	こどもは家庭で自主学習（予習・復習・宿題等）に計画的に取り組むことができますか	42.8	57.2
4	こどもは「ぶんぶんPROJECT」を活用し、自主的に粘り強く学習に取り組んでいますか	37.8	62.2
5	子どもは進んで気持ちのよい挨拶ができますか	70.6	29.4
6	子どもは学校に行くのを楽しみにしていますか	77.4	22.6
7	子どもは学校行事、学級活動に仲間と協力して積極的に参加していますか	85.9	14.1
8	子どもは積極的に部活動や生徒会委員会や学級の係活動に参加していますか	79.3	20.7
9	子どもは相手のよい面を認め思いやりの心を大切にできますか	91.0	9.0
10	子どもは自分の良いところを見つけることができますか	72.5	27.5
11	子どもは自分で決めたことをやり遂げようとしていますか	66.7	33.3
12	こどもは学校や社会のルールを守って行動していますか	91.9	8.1
13	子どもはいじめを許さない仲間づくりができますか	95.5	4.5
14	こどもはバランスの良い食事、適度な運動、十分な睡眠が定着できますか	67.6	32.4
15	こどもはタブレットやスマホ、SNS等の使用方法について、家庭でのルールを守っていますか	50.0	50.0
16	こどもは家庭で読書をしていますか	16.2	83.8
17	こどもは学校での出来事や学んだこと等を家で話していますか	65.9	34.1
18	学校はこどものことについて相談に適切に対応していますか	85.8	14.2
19	学校（学年・担任）は取り組みや状況を家庭にお知らせしていますか	87.8	12.2
20	家庭や地域は、学校と連携し子どもたちの教育にあたっていますか	77.7	22.3



生徒アンケート		割合(%)	
		A	B
	授業で基礎的・基本的な学習内容を理解できていますか	88.7	11.3
	自分の思いや考えをしっかり話したり書いたりできていますか	91.2	8.8
	家庭で学習（予習・復習・宿題等）を計画的に取り組むことができますか	69.4	30.6
	「ぶんぶんPROJECT」で興味・関心を深め、自主的に粘り強く学習に取り組んでいますか	50.2	49.8
	進んで気持ちのよい挨拶ができますか	82.7	17.3
	楽しく学校生活を送っていますか	94.6	5.4
	学校行事や学級活動に仲間と協力して積極的に参加できますか	95.0	5.0
	部活動、生徒会委員会や学級の係活動に積極的に取り組んでいますか	90.1	9.9
	相手のよい面を認め、思いやりの心を大切にできますか	97.5	2.5
	自分の良いところを見つけることができますか	75.2	24.8
	自分でやると決めたことはやり遂げようとしますか	86.0	14.0
	学校や社会のルールを守っていますか	97.3	2.7
	いじめを許さない仲間づくりができますか	95.7	4.3
	バランスの良い食事、適度な運動、十分な睡眠を心がけていますか	79.0	21.0
	タブレットやスマホ、SNS等の使用方法について、家庭でのルールを守っていますか	86.2	13.8
	進んで朝読書をしていますか	53.7	46.3
	学校での出来事や学んだことを家で話していますか	81.6	18.4
	先生は様々なことに相談に応じてくれていますか	88.4	11.6
	学校からの連絡（プリント等）は必ず保護者に伝えていますか	80.4	19.6
	地域のために進んで、地域行事やボランティアに参加したいと思っていますか	56.3	43.7

○今年度、アンケート項目の見直しをし前期と同じ項目で実施しました。保護者からは222件の回答をいただきました。

○前期と比較した時、生徒の「そう思う・大体そう思う」は多くの項目で増加しています。特に、今年度は“仲間づくり”をテーマに、1学期は「認め合い」2学期は「鍛える」とキーワードを掲げ、“仲間”とのつながりを大切にしてきました。2学期は学年・学校行事を行な際、教職員も意識しながら支援をまいりました。結果、項目(6)～(9)では90%を超えて、学級や学年で自分自身や仲間との関係にしっかりと向き合えていた結果と見取れます。

○半面、生徒のアンケート項目と若干の違いはありますが、保護者は全体的に「あまりそう思わない・そう思わない」が増加しています。保護者は家庭での子どもの姿や会話、学習の状況から子どもの成長を見ていただいているが、中学生という多感な時期ですから項目(17)にあるように学校での様子を子ども自身があまり話さないことも伝わりにくいくことの一因になっているかもしれません。すぐるを使っての発信も行なっていますが、項目(17)～(20)にあるように学校からの発信や保護者との連携、地域で子どもたちを見守っていくよう取り組んでまいりたいと思います。今後もご協力をお願いします。

○学校よりも取り上げていますが、項目(15)のSNS等の使用方法については、生徒と保護者に大きく開きがあります。項目(14)では食事・運動・睡眠を取り上げていますがSNS等の使用やそれに伴う睡眠不足も考えられます。ご家庭でも規則正しい生活について話題にしていただけると幸いです。